



鶴見・川崎臨海工業の現況

准員 菅 野 一*

1. はしがき

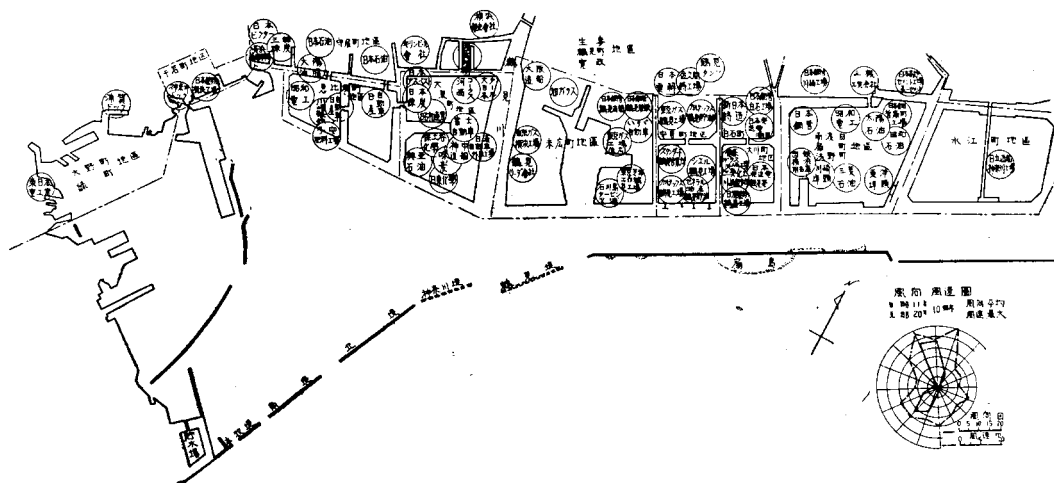
我国最大の工業港として鶴見・川崎工場地帯が現在具体的にどんな風に利用されているか、特に港湾取扱貨物及び港湾施設利用状況等を調査し、この結果より将来工業港即ち臨海工業の配置、構成、規模等の資料として、自立経済達成の観点より最近特に世人の関心を集めている理想的臨海工業達成の資料たらしめようとするものである。

2. 沿革

本工業港は本格的には大正3年浅野総一郎氏が150万坪の埋立をし、その前面に防波堤を作りこの間の海底の浚渫を行い、浚渫土砂は前記埋立地造成に利用すると共に適切な水深を有する航路、泊地を作る計画をしたことに始まる。然し埋立のみについては明治の終りに免許を得ており大正2年に工事着手、其の後浅野*

*総一郎氏は東京湾埋立会社を創立して続行された。大正13年には港湾調査会で京浜運河開鑿計画が決定した。これは鶴見地区より隅田川に至る間を風波、漂砂の流入を防禦させるため巾員300m、水深3.5mの運河を設けようとするものである。更に昭和2年には巾員700m、水深は必要に応じて増加することに変更され、ピヤヘッドラインは護岸線より50mということにきめられた。その後京浜臨海工業地帯造成事業として東京府及び神奈川県の施行にかかり東京側は昭和11年より、神奈川県側は昭和12年より工事にかかることになった。昭和15年には防波堤配置に若干の変更があり、昭和20年終戦と共に中止となり、現在東京と川崎の間が未だ水路による連絡が出来ていない。造成された埋立地面積は7.1km²に及んでおり、工事費は25,000,000円になっている。

図-1 鶴見・川崎工業港配置図(昭和26年6月現在)



3. 調査範囲

図-1に示す様に横浜市、川崎市の2市を対象とし、具体的地名としては大野緑町、千若町、守屋町、宝町、恵比須町、寛政町、生麦町、鶴見町、大黒町、末広町、安善町、白石町、大川町、南渡田町、浅野町、扇町、水江町を含み61工場について調査した。即ち産業道

路及び第1国道より以南の臨海地帯について調べた。

4. 本工業港発展の特長

1. 世界航路の要所で大貿易港横浜、東京の近くに接近していること。
2. 大型船を横付け出来る地先のあること。
3. 日本最大の消費地東京に近いこと。
4. 産業に重大関係ある燃料の得易いこと。
5. 貨物の集散上海陸交通の至便なこと。

* 運輸省第2港湾建設部企画課

表-1 地区毎工場諸元

地区名	工場敷地面積	工場建坪	従業員数	建坪/敷地	従業員1人当り敷地面積
水江町	210 000 ^坪	36 200 ^坪	835 ^人	17 [%]	252 ^坪
辰町, 南渡田, 浅野町	1 188 011	405 731	17 714	25	215
大川河, 白石町	174 327	31 358	2 240	25	91
安善町	231 148	16 479	1 280	4	110
末広町	486 530	158 787	14 456	37	49
箕玖, 生麦, 鶴見町	81 180	26 488	1 498	36	63
大黒町	140 804	42 221	3 120	32	75
宝町, 恵比須町	221 848	66 874	5 090	28	57
千若町	8 059	6 787	500	84	16
守屋町	159 314	20 542	2 498	30	57
大野町, 緑町	94 898	40 362	8 279	40	14
合計	2 996 119	851 829	57 510	28	52

表-2 業種別敷地建坪従業員関係表

業種別	敷地		建坪		従業員数		従業員1人当敷地面積	工場数
	敷地面積(坪)	全体比	工場建坪(坪)	全体比	従業員数(人)	全体比		
造船業	398 450	13.3 [%]	106 484	12.5 [%]	12 992	22.6 [%]	30.8	6
油業	434 692	14.5	34 571	4.1	1 922	3.3	226.0	9
化学工業	590 264	19.7	173 711	20.4	10 987	19.1	54.0	22
電力業	108 229	3.6	10 027	1.2	580	1.0	187.0	2
鉄工業	956 320	31.9	384 465	45.2	19 739	34.4	48.4	9
機械工業	327 694	10.9	124 065	14.6	10 761	18.7	30.5	8
その他	185 196	6.1	16 517	2.0	529	0.9	35.0	5
合計	3 000 845	100.0	849 840	100.0	57 510	100.0	52.2	61

表-3 業種別一工場平均敷地・建坪・従業員関係表

業種別	敷地面積(坪)	建坪面積(坪)	従業員数(人)
造船業	66 500	17 800	2 160
油業	48 400	3 790	214
化学工業	26 830	7 900	500
電力業	54 100	5 000	290
鉄工業	106 257	42 718	2 193
機械工業	40 962	13 785	1 196
その他	37 100	3 320	110

表-4 従業員工場数による対全国及び神奈川県比

個所名	従業員数	工場数	摘要
鶴見・川崎臨海工業地帯	57 510人	61	
全国	3 373 000	106 954	時事年鑑による
対全国比	1.7%	0.06%	
神奈川県	172 600	2 609	時事年鑑による
対神奈川県比	33.3%	2.3%	

表-5 主要生産品目別地区別一覧表 (出貨物)

昭24. 実績 単位屯

地 名 区	品 目								計	工場数
	油 類	石炭及 コークス	米穀類	肥 料	金属及 同製品	セメント	薬 品	其の他		
水 江 町					785				785	1
大 川, 白石町			341 667		13 277			3 657	358 601	6
扇, 浅野, 南渡田町	126 700	100 048		126 358	506 834	88 000	1 452	11 060	960 452	10
安 善 町	511 646	168 309		2 467			1 396		683 818	5
末 広 町	4 136	68 179		776	205 386		36 894	34 787	350 158	10
寛 政 町					13 298			86	13 384	3
大 黒 町	12 971	17 400	57 414	75 465			4 000	440	167 690	12
生 麦 町					29 280			36 553	65 833	3
宝, 恵比須町					17 357		51 630	1 600	70 587	3
千 若 町			88 000		42 953				130 953	1
守 屋 町		7 740			114 100			3 518	125 358	5
大 野, 緑 町					17 045				17 045	2
計	655 453	361 676	487 081	205 066	960 315	88 000	95 372	91 701 2 944 664	61	

表-6 主要生産品目別・地方別一覧表 (入貨物)

昭24. 実績 屯

地 区 名	品 目								計	
	油 類	石炭及 コークス	米穀類	肥 料	鉱石及 同製品	薬 品	セメント	木 材		其の他
水 江 町		600			1 950			2 000	-1 770	6 320
大 川, 白石町		53 573	357 269						1 900	412 742
扇, 浅野, 南渡田町		722 384			1 081 746	5 812			196 035 2 005 977	
安 善 町	505 646	349 373								855 019
末 広 町	33 071	233 871			234 664	865		425	46 272	549 168
寛 政 町	100	8 100			12 186				3 320	23 706
大 黒 町	2 670	88 644	75 300		65 163	24 714			514	257 005
生 麦 町		4 114	2 516		919				20 363	27 912
宝, 恵比須町	2 252	29 701			99 225					131 178
千 若 町		12	243 000		40		4	143	50	243 249
守 屋 町	3 698	11 982			318	360		1 251		17 609
大 野, 緑 町		13 461			41 677		375	17 595	13 330	86 438
計	547 437	1 515 815	678 085		1 537 888	31 751	379	21 414	283 554	4 616 323

表-7 出入貨物総括表

昭24. 年実績 (単位屯)

地 区 名	出 貨			入 貨			合 計		
	陸 送	海 送	計	陸 送	海 送	計	陸 送	海 送	計
水 江 町	645	140	785	3 320	3 000	6 320	3 965	3 140	7 105
大 川, 白石町	340 396	18 205	358 601	6 854	405 888	412 742	347 250	424 093	771 343
扇, 浅野, 南渡田町	402 973	557 479	960 452	880 636	1 125 341	2 005 977	1 283 609	1 682 820	2 966 429
安 善 町	168 145	515 673	683 818	9 750	845 269	855 019	177 895	1 360 942	1 538 837
末 広 町	167 164	182 994	350 158	185 818	363 350	549 168	352 982	546 345	899 326
寛 政 町	8 514	4 870	13 384	16 634	7 072	23 706	25 148	11 942	37 090
大 黒 町	154 291	13 399	167 690	115 814	141 191	257 005	270 105	154 590	424 695
生 麦 町	64 563	1 270	65 833	27 652	260	27 912	92 215	1 530	93 745

宝, 恵比須町	61 599	8 988	70 587	59 942	71 236	131 178	121 541	80 224	201 765
千 若 町	89 000	41 953	130 953	226	243 023	243 249	89 226	284 976	374 202
守 屋 町	10 355	115 003	125 358	10 799	6 810	17 609	21 154	121 813	142 967
大 野, 緑 町	16 695	350	17 045	53 352	33 086	86 438	70 047	33 436	103 483
計	1 484 340	1 460 324	2 944 664	1 370 797	3 245 526	4 616 323	2 855 137	4 705 851	7 560 987

表-8 船種別海上取扱貨物一覽表 昭 24. 実績 單位屯

地区別	汽 船	機 帆 船	浮	合 計
水 江 町	1 640	1 500		3 140
扇町, 南渡田町, 浅野町	849 414	633 674	199 732	1 682 820
大川町, 白石町	386 351	32 592	5 150	424 093
安 善 町	702 660	573 671	84 611	1 360 942
末 広 町	17 545	493 708	35 092	546 345
寛政町, 生麦町, 鶴見町		8 602	4 870	13 472
大 黒 町	994	92 508	61 088	154 590
宝町, 恵比須町		71 536	8 688	80 224
千 若 町		41 953	243 023	284 976
守 屋 町		6 610	115 203	121 813
大野町, 緑 町		100	33 336	33 436
計	1 958 604	1 956 454	790 793	4 705 851

表-9 出入船舶一覽表 昭 24 年, 單位屯 (修理船舶を除く)

地区名	汽 船		機 帆 船		浮 船		合 計	
	隻 数	噸 数	隻 数	噸 数	隻 数	噸 数	隻 数	噸 数
水 江 町	—	—	—	—	—	—	—	—
大川町, 白石町	116	703 752	74	5 809	508	45 492	698	755 053
扇, 浅野, 南渡田町	1 438	2 632 854	1 973	203 160	19 024	2 123 919	22 435	4 959 933
安 善 町	353	594 163	2 870	344 976	5 908	538 912	9 131	1 478 051
末 広 町	12	22 000	867	126 562	4 015	496 315	4 894	644 877
寛 政 町	—	—	154	10 000	26	1 672	180	11 672
大 黒 町	—	—	569	76 909	718	71 625	1 287	148 534
生 麦 町	—	—	11	550	15	1 875	26	2 425
宝町, 恵比須町	3	23 000	1 058	65 785	415	63 890	1 476	152 675
千 若 町	—	—	170	21 000	1 200	243 000	1 370	264 000
守 屋 町	—	—	12	1 400	98	5 681	110	7 081
大 野, 緑 町	—	—	—	—	30	6 000	30	6 000
合 計	1 922	3 975 769	7 758	856 151	31 957	3 598 381	41 637	8 430 301

5 あとがき

1. 本調査は個別実地調査による実態の集計である。
2. 従業員1人当りの敷地面積は油業が最高で226坪機械工業が最少で30坪となっている。
3. 1工場当りの敷地面積は鉄工業が最高で10万坪化学工業が最少で2万7千坪となっている。
4. 本工業地帯のみで全国の工業従業員の1.7%も占めている。而も殆んど大多数の工場は経営健全であ

る。

5. 入貨461万tに対し出貨294万tで、原料を入れ製品を出貨する性格を示している。
6. 陸送285万t海送470万tで臨海工業の性格がはつきりしており、海送については横浜港取扱貨物の半ばを占めている。
7. 最大船舶はタンカー総屯10391tで漸増の形勢。
8. 港湾施設, 工業用水, 電力等については次に譲る。